

質 問 回 答

2014 年 7 月 7 日

「2014 年度案件別事後評価：パッケージ7(ホンジュラス)」

(再公告日：2014 年 6 月 25 日 / 公告番号：140374) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番 号	当該頁項目	質問	回答
1	P17. 第 2 業務の 目的・内容に関する 事項 (4)	・本文中に記載のある「想定される変数及び使用 2次データ」については、入手可能であることが確 認されているという理解で良いか。	終了時評価報告書等の公表されている各種報告書に記載されて いるデータ、また最近公開された、「中米シャーガス病対策好事例 集（完全西語版）」 https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/ public/ProjectHistory/ChagasDisease/ CompletoBuenasPracticasChagasCAJICA2000-2014WEB.pdf p.261 以降に記載されているデータについては、入手可能である ことを確認しています。
2	同上	・終了時評価報告書をはじめとする各種報告書 に掲載されている情報については、縮約されたも のではない「個票データ」が入手可能か。	上記、「中米シャーガス病対策好事例集(完全西語版)」記載デー タに関する個票データが入手可能であることは、現地専門家に確 認しています。 一方、終了時評価報告書等、各種報告書に記載されている情報 に関する個票データが入手可能であるかは、現時点で確証をもっ て可能と申し上げることはできません。
3	同上	・本文中に言及のある「Aiga et al. (2012) Chagas Disease...」で使用されているデータ(個 票データ)は本評価においても使用可能か。	「Aiga et al. (2012) Chagas Disease...」記載されているデータ (個票データ含む)を使用できるかどうか、著者に確認する必要が あるため、現時点で確証をもって可能と申し上げることはできませ ん。

4	同上	<p>・上記質問の回答次第であるが、仮に上記データをはじめとする「簡便な統計的手法を用いた定量的分析」を行う上で必要となる 2 次データが十分に入手できない場合はどのような対応が考えられるか。</p>	<p>本分析は「技術プロジェクトの効率性分析方法に係る教訓・提言導出」も目的としています。したがって、もし、分析の根本を揺るがすほど必要となる 2 次データが入手できない場合は、それによってどの程度の妥当性がある定量分析となったのか、そして、それが効率性分析の実行可能性にどの程度影響を及ぼすのか、考察することに、本分析主眼を移すことを考えています。</p>
5	同上	<p>・費用効果分析を行う上で必要となる「費用」の情報について、プロジェクト事業費以外の費用(先方政府の負担分、青年海外協力隊隊員派遣に係る経費等)の情報は入手可能か。</p>	<p>先方政府負担分について、各種報告書に記載されている以上の情報(詳細な内訳等)を入手することは困難と考えています。青年海外協力隊隊員派遣に係る経費等の情報につき入手可能かどうか、現時点でお答えすることはできません。なお、今回の分析は、先方政府負担分の詳細や協力隊隊員派遣に係る経費の詳細を費用効果分析の対象とすることは考えていません。</p>

以上